

「第3次久喜市子ども読書活動推進計画（案）」に対する意見・提案等の反映状況

本文への反映について：「反映・修正」した場合は、該当する記述が赤字になっています。
「参考意見」の場合は、関連する記述部分が青字になっています。

第1章 計画策定の背景

項番	頁	行	意見番号	意見・提案の骨子等	反映状況	意見の反映	新頁
1	2	7	①	夢、大志、希望といった、理念的なものを総論に入れた方がよい。	反映・修正	ご意見と同じ考えに基づき、計画の冒頭部分（1 子ども読書活動の意義）に文言を追加しました。	p 2
3 (1) 及び (2)	p 3 p 4	下6 下1	②	以下の部分は、ライフステージの言葉に置き換えることができるのではないかと。 (1) 小学生以下の現状→ 乳幼児・学童期の現状 (2) 中学生以上の現状→ 少年・青年期の現状	反映・修正	ライフステージに関する説明より前のページにある記述ですので、意味がわかりやすいように、下記のような表示にしました。 (1) 乳幼児・学童期（小学生以下）の現状 (2) 少年・青年期（中学生以上）の現状	p 3 p 5
	p 4	3	③	アンケート対象となった保護者は読書に対する関心の高い層であり、一般の保護者でアンケートを取るとまた異なる結果が得られるのではないかと。そのことを記載する必要はないかと。	参考意見	ご指摘は重要なご意見として、今後のアンケート実施の際に参考にさせていただきます。本計画においては、調査対象を「おはなし会に参加した保護者」と明記するに留めさせていただきます。	関連 記述 p 3
	p 4 p 5	下3 下7	④	小学生以下のアンケート結果では、インターネットやメールを「一日に4時間以上する」割合を採用し、中学生以上では「一日に2時間以上する」割合を採用している。どちらかに統一すべき。	反映・修正	ご指摘を受け、「2時間以上」に統一することとしました。	p 4 p 5
	p 4 p 5	下3 下7	⑤	インターネットやメール、ゲームの利用時間のパーセンテージを見直した方がよい。使うと回答した子どもの数が分母となっているので、使わない子も含めた全員を分母とした方がよい。	反映・修正	ご指摘を受け、小学生以下、中学生以上ともにパーセンテージを修正しました。	p 4 p 5

項番	頁	行	意見番号	意見・提案の骨子 等	反映状況	意見の反映	新頁
巻末資料	—	—	⑥	①アンケートはいつどこで実施したのかを記載した方がよい。	反映・修正	ご指摘のとおり、アンケート対象をアンケート結果の1枚目に表示しました。	巻末資料
	—	—	⑦	②小学生読書アンケートの問8→「誰に本を読んでもらったり、昔話をしてもらいましたか」の設問の解答欄は「誰」という人が対象であり、「時々ある」の回答欄は適切ではない。（「時々ある」は頻度を問う問7の回答欄です）	反映・修正	ご指摘のとおり、修正しました。	巻末資料

第2章 「久喜市子ども読書活動推進計画」の基本的な考え方

項番	頁	行	意見番号	意見・提案の骨子 等	反映状況	意見の反映	新頁
2 (2)	p11	7	⑧	数値目標の設定の理由づけを小さな文字で入れたらどうか。よりわかりやすくなると思う。	反映・修正	久喜市の推計人口（『久喜市総合振興計画』より）を追加し、数値目標の参考にした旨、記述しました。	p11 p12
			⑨	目標値が低すぎる。例えば、貸出冊数6年間で72冊増は0.026%であり根拠を明確にすべきであろう。少子化により児童数は減少すると予想されるがその減少割合も記した方がよい。他にも根拠があるのでは？			
2 (3)	p12	1	⑩	ライフステージごとの視点について この視点は今回の目玉である。全編を通してライフステージの言葉を使うのは難しいが（児童、生徒など固有の呼び方があるため）、計画の中にこの視点が生きていることを説明した方がよい。	参考意見	ご意見と同じ考えに基づき、第2章の2の冒頭に「ステージごとの視点を定め、さまざまな施策に取り組む」旨、記述しています。	関連 記述 p10

第3章 久喜市における子どもの読書活動計画の実現に向けた取組

項番	頁	行	意見番号	意見・提案の骨子 等	反映状況	意見の反映	新頁
I 1 (1)	p16	10	⑪	乳幼児への直接的な読み聞かせの場を増やすと共に保護者等への読書活動情報の提供が大切。 現在行っている「おすすめ絵本リスト」の配布や絵本と子育てについての講座の更なる充実を望む。	参考意見	ご意見と同じ考えに基づき、本計画を策定しております。 関連する事業について充実を図ってまいります。	関連 記述 p18 p22 p25
I 1 (1) ②	p17	1	⑫	「おすすめ絵本リスト」の配布のみではなく、絵本プレゼントが出来たら、さらに良いのではないか	反映・修正	ブックスタートの際、絵本、布バッグ等を配布しており、本計画の中では「ブックスタートパックの配布」という言葉を用いておりました。実際に配布しているものがわかりにくい ため、記述を追加しました。	p18 p25
I 1 (2) ①	p18	1	⑬	学童にもネットワークを広げて一緒にやっていたら良い。	参考意見	ご意見と同じ考えに基づき、市立図書館では、放課後児童クラブ等へ図書館資料の団体貸出を行っています。今後も「放課後児童クラブ」や「久喜市放課後子ども教室」（ゆうゆうプラザ）の読書活動を支援してまいります。	関連 記述 p19
I 2 (2) ①	p19	下8	⑭	司書教諭が各学校にいれば一番だが、条件的に難しい。 学校の図書担当者何らかの方法で働きかけ、学校図書館の活性化を図ってもらいたい。こういう取り組みをしている等の情報交換も良いと思う。	参考意見	ご意見と同じ考えに基づき、学校の図書館を運営する担当者への働きかけを行ってまいります。	関連 記述 p20 p25 p27

項番	頁	行	意見番号	意見・提案の骨子 等	反映状況	意見の反映	新頁
I 2 (2) ④	p 20	9	⑮	社会福祉協議会では、保育園、幼稚園、学校への夏の体験ボランティアを行っている。「自分の生き方を考える」ということで、図書館の仕事を通して学ぶ機会をつくった方がよい。	参考意見	市立図書館では、一日図書館員、職場体験を行っています。働く楽しさ、難しさを学び、将来を考える機会となるだけでなく、本と出会う機会、図書館の機能等を学んでもらう機会にもなっています。ご意見と同じ考えに基づき、体験事業を今後も実施してまいります。	関連 記述 p 21 p 28
I 3 (1) ③	p 21	9	⑯	読書通帳で、読んだ本の貯金を増やすことも大切なことだが、読みたい本を増やすことも重要である。色々な取り組みの中で、読みたい本を、いつでも2冊3冊イメージできる子どもを育てていきたい。	参考意見	ご意見と同じ考えに基づき、年齢に応じて読みたいものがみつかるようにYA、YJ、幼年文庫などのコーナーを設置するとともに、各種ブックリストの配布を行っています。	関連 記述 p 21 p 22 p 24
I 3 (1) ⑤	p 22	1	⑰	職員の資質向上、サービス向上を図るために、絵本専門士養成講座を受講してはどうか。	参考意見	絵本専門士のいる図書館はとても魅力的です。しかし、受講にあたっては一定の要件を満たす必要があるため、継続的な研修として取り入れることは難しいと考えております。その他の各種研修に積極的に参加することで資質の向上を図ってまいります。	関連 記述 p 23
I 3 (3)	p 23	下7	⑱	市内の県立学校との連携に関して、可能な範囲で記述を加えた方がよい。	参考意見	県立学校への支援は県立図書館による推進が主となるため、市立図書館としては、個々の高校生を対象とした支援を行っています。現在、ヤングアダルトコーナーの設置やブックリストの配布を行っておりますので、今後もこれらの更なる充実を図ります。	関連 記述 p 24
			⑲	埼玉県では、県立高校の学校図書館に司書を配置することになっており、県立高校の生徒の読書活動は在籍している高校が担っている状態である。 県立高校図書館への支援は県立図書館が推進し、小中学校への支援は市立図書館が担うことを期待する。			

項番	頁	行	意見番号	意見・提案の骨子 等	反映状況	意見の反映	新頁
I 3 (3) ③	p 24	7	⑳	市立図書館には小中学校という教育の枠を使って、この段階でできるだけのことをしてもらいたい。	参考意見	ご意見と同じ考えに基づき、市立図書館では学校の授業の枠を利用し、訪問ブックトーク、訪問おはなし会を実施していますが、職員の配置、養成上の問題等もあり、現状では全図書館で実施することが難しい状態です。現在、図書館見学等の機会を捉えて、児童・生徒に図書館のPR、読書啓発を行っておりますが、今後は、子どもたちの図書館利用を教職員から促してもらえるよう協力を仰ぎたいと考えております。	関連 記述 p 25
II 1 ②	p 26	7	㉑	子ども活動支援センターが県立久喜図書館内に設置されており、久喜が活動の中心となっている。久喜から始まる子ども読書活動の充実を県立図書館も推進していきたいと考えている。	反映・修正	県立久喜図書館の子ども読書支援センターとの連携について記述を追加しました。	p 27
II 1 ②	p 26	7	㉒	今年度、久喜市と埼玉県の間で人事交流が実施された。図書館職員同士の人事交流の他、小学校の教員1名が県立図書館に派遣となった。 教員が県立図書館に派遣されることは初めてのことであり、この経験を学校に戻って活かしてもらうため、県立図書館では当該教員との協同事業を検討しているところである。	参考意見	県立図書館と市立図書館の協力・連携の推進に関して具体的な取り組みの記述を加えたいところですが、検討段階ですので、あいまいな記述は控えることとしました。	関連 記述 p 27
II 2 ②	p 27	5	㉓	②地域の読書活動情報の提供（の具体的記述が必要） 多くの市民が集まるイベント時にボランティアによる読み聞かせコーナーや図書館の情報コーナーが設置し、周知出来たらよいのではないかと	反映・修正	ご意見に基づき検討し、情報コーナーの設置について記述を追加しました。読み聞かせの実施は、地域の読書活動を知ってもらうよい手段ではありますが、実施環境（人数、会場の規模、静けさ等）によって本来の意義を損なう恐れがございますので、今回は見送らせていただきます。	p 28

その他のご意見

章 項	頁	行	意見 番号	意見・提案の骨子 等	反映状況	意見の反映	新頁															
—	—	—	②④	読み聞かせだけでは弱いのではないか。本、絵本を作る等、能動的な活動を通して、本に興味をもってもらえないだろうか。	参考意見	創作体験は大変面白い試みと思いますので、今後の図書館活動を進める中で参考にさせていただきます。	—															
—	—	—	②⑤	子どもが小学校低学年までは学校で読書の楽しさをよく指導していただきたい。	参考意見	読書の楽しさは、体験によって得られる感覚ですので、訪問ブックトークやおはなし会を通して、市立図書館がその機会を提供しています。ボランティアが読み聞かせを行っている学校もあります。 学校との連携の中で、市立図書館としてできる働きかけ等を模索していきたいと考えております。	—															
—	—	—	②⑥	<table border="1" data-bbox="389 778 1077 1026"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学生 (%)</th> <th>中高生 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本が好き</td> <td>81</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>本を読むのが嫌い</td> <td>19</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>1カ月の読書数0冊</td> <td>8</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>学校図書の利用者</td> <td>83</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンケートでも小学生から中高生になると本を読まなくなることが顕著に示されている。その一端はインターネットやゲームなどにもあるが、親の収入格差がだんだんと大きくなり、家庭における本の購入も少なくなっていると思われる。こうした時代だからこそ家庭や学校と力を合わせ図書館の利用を推進する具体的な対応が必要。</p>		小学生 (%)	中高生 (%)	本が好き	81	66	本を読むのが嫌い	19	34	1カ月の読書数0冊	8	29	学校図書の利用者	83	17	参考意見	本計画を策定し、継続的に事業を実施することによって、子どもの読書活動の推進を図ってまいります。	—
	小学生 (%)	中高生 (%)																				
本が好き	81	66																				
本を読むのが嫌い	19	34																				
1カ月の読書数0冊	8	29																				
学校図書の利用者	83	17																				